



すが、五年生を二人ほど負かして三人目に負けたのです。私は胴を打つのが上手で、とび込んで行って胴を打ち、ころころとひっくり返つてころんだものですから、校長先生が笑つておられたということの後で聞いたことを覚えています。

長崎師範学校との対抗試合があつて、一年に入つたばかりの私が学校の代表選手の中に加えられて出たことがあります。その当時の師範学校の生徒たちは、中学生より一年年上でした。その学校と試合するわけです。向うの生徒たちに比較すると私は中学一年生ですから身体の大きさでは比較にならないのです。私はそのとき初めて一回目で負けたのです。それまでは試合のときは一人も負かさないうで負けることはなかつたのです。一人負かした後に負けるか、二人、三人負かした後に負けるか、必ず何人か負かした後に負けていたのですが、このとき初めて一人も負かし得ず負けたので上級生にすまなかつたと思つたことでした。

私の中学時代の親友林田恭介君が赤色の胴を持つておつたので、試合に出る時はいつもその道具を借りて行き、勝つて賞品をもらつては林田君にやつていたらしく、林田君に会うとよくそのことを話してしました。

中学の一年先輩に菅原 裕氏（東京弁護士会会長）がおられました。すでに故人になれましたが、剣